

No.9

弦楽四重奏の新しい地平 ～たった4人のオーケストラ～

モルゴーア・クアルテット（弦楽四重奏）



モルゴーア クアルテット
日本最高峰の弦楽四重奏団“MORGAUA QUARTET”。1992年在京オーケストラの主要メンバーによって、シヨスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全15曲を演奏するために結成。2023年に演奏活動30周年を迎え、更に勢いを増して進化し続ける唯一無二のクアルテットとして知られています。その枠にとどまらず様々なプログラムで音楽の核心に迫る演奏を行い、中でもプログレッシヴ・ロックを取り入れた迫真の演奏は、各地で話題と熱狂を呼んでいます！



モルゴーア・クアルテット コンサート

- A** 第1 ヴァイオリン：荒井英治（元東京フィルハーモニー交響楽団 ソロ・コンサートマスター）
第2 ヴァイオリン：戸澤哲夫（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスター）
ヴィオラ：小野富士（元 NHK 交響楽団次席ヴィオラ奏者）
チェロ：藤森亮一（NHK 交響楽団首席チェロ奏者）

- 【曲目例】
 ハイドン：弦楽四重奏曲第 39 番「鳥」、第 67 番「ひばり」、第 74 番「騎士」、第 76 番「五度」、第 77 番「皇帝」
 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 4 番、第 11 番「セリオソ」 モーツァルト：弦楽四重奏曲第 17 番「狩」
 ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ラヴェル：弦楽四重奏曲
 ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第 12 番「アメリカ」 ボロディン：弦楽四重奏曲第 2 番
 ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 1 番～第 15 番 狭間美帆：キメラ
 「プログレッシヴ・ロックのレパートリーから」
 キング・クリムゾン：21 世紀のスキッツォイド・マン、スターレス、レッド、太陽と戦慄 part2
 ピンク・フロイド：マネー、原子心母、メドレー
 ジェネシス：月影の騎士、ザ・シネマ・ショウ、ウォッチャー・オブ・ザ・スカイズ
 EL&P：タルカス、悪の教典#9 第 1 印象、悪の教典#9 第 3 印象、トリロジー、未開人
 イエス：危機、同志、シベリアン・カートゥル
 UK：デンジャー・マネー

交流 プラン	共演	—	
	鑑賞教室	—	
	子どもミニコンサート	—	
	クリニック	—	
	マスタークラス	—	